

「被爆ピアノ」題材
15日に映画上映会

宇都宮南図書館

原爆の投下により広島で被爆し、焼け残ったピアノに関する実話を題材にした映画「おかあさんの被爆ピアノ」の上映会が15日、宇都宮市南図書館サザンクロスホールで開かれる。

市民団体「宇都宮平和映画会」実行委員会の主催。登場人物のモデルは、被爆ピアノを所有者から譲り受けた被爆2世の調律師矢川光則さん。自ら修復したピアノをトラックに積み、全国各地でコンサートを開く活動で知られている。

映画はピアノ所有者の親族である少女が矢川さんと出会い、被爆ピアノの歴史をたどりながら自身の生き方を見つけていくストーリー

1。実行委の担当者は「若い人たちに原爆や戦争の被害について知ってもらいたい」と話している。

上映は午前10時と午後2時の2回。入場料の前売りは千円、当日は1300円。15歳以下は無料。県総合文化センターや宇都宮市文化館で販売中。電話予約もできる。

問合せ028・636
6103。

15日 戦争テーマに上映会

宇都宮

市民団体「宇都宮平和映画会
実行委員会」は15日、宇都宮市
雀宮町の市立南図書館サザンクロスホール

で第16回映画
会を開く＝写
真。

被爆したピ
アノを直し全
国を回って演
奏する物語
「おかあさん
の被爆ピア
ノ」(2020年)
を午前10時と
午後2時の2
回上映する。
入場料は前売



り1000円、当日1300円、15歳以下無料。

実行委は2008年から映画会を開催。原爆や
沖縄戦、戦争の被害をテーマにした映画の上
映を続けている。問い合わせは、実行委の田
中さん＝電028 (636) 6103＝へ。

(小川直人)